

よろず相談信用金庫《たんよう》はいつも お客様のそばに…

平素は、当金庫に対しまして何かとお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、安心してお取引をいただくために、平成22年9月期決算や経営内容の一端について「半期レポート2010」としてまとめさせていただきます。

お目通しいただき、《たんよう》のより一層のご理解と引続きのご支援、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

地域経済活性化への取組み

当金庫は、大正15年に但馬/生野にて創業。昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転、中・西播磨を含めた兵庫県南部を主な事業区域とし、地域の中小企業者や住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地元のお客様からお預かりした大切な預金は、地元で資金を必要とされるお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、文化・環境・福祉・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでいます。現在、兵庫県が中心となり進められている「銀の馬車道ネットワーク協議会」「鉱石の道推進協議会」にも積極的に協力しています。

地域貢献(密着)活動

地域の皆様との出会い・ふれあいを大切に、さまざまな活動に取り組んでいます。

認知症サポーター養成講座を受講

営業エリア内5市5町の自治体窓口の協力を得て「認知症サポーター養成講座」の受講を勧奨しています。



これは、高齢者の預金保護と取引における円滑な対応等を目的に、2009年7月に設置した「高齢者取引対策委員会」の取組みの一環で、これまでに、626名(全役職員の97.8%:平成22年10月1日現在)がサポーター養成講座を受講しました。

認知症サポーターとは

なにか特別のことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、職場や地域等で自分のできる範囲で活動します。認知症を自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えます。また、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

この制度は、厚生労働省が推進する事業で、養成講座を受講すると、サポーターの証としてオレンジリングと呼ばれるプレスレットが授与されます。

「認知症サポーターがいるお店」にはこのステッカーが貼られています。

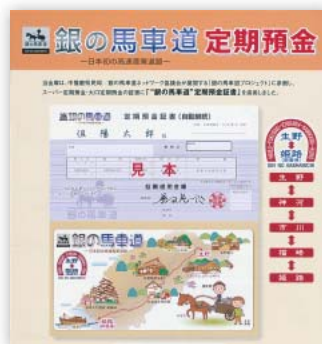


「銀の馬車道プロジェクト」を応援

兵庫県(中播磨県民局)が中心となって進められている「銀の馬車道ネットワーク協議会」の主要構成メンバーとして、商工会議所・商工会や地元大学、旅行会社、マスコミ等とともに参画し、ツーリズムの振興やJR播但線の利便性向上、交流拠点の形成など“元気な中播磨づくり”をめざすこのプロジェクトを応援しています。

その一環として中播磨県民局から全面的な使用承認を受けた、「銀の馬車道」ロゴマーク・図案を定期預金証書等に採用しました。ホームページやチラシ配布(窓口・訪問活動)等を通じ、積極的にプロジェクトのPRに努め、この事業活動の強化・推進に協力してまいります。

また、旧栗賀支店の余剰スペースを活用(神河町商工会に使用貸借)した「銀の馬車道交流館」では、神河町の歴史や文化などに関する展示等が行われ、地域交流や町づくりの拠点施設・観光案内施設として利用されています。



「銀の馬車道図案」を定期預金証書に採用



「銀の馬車道交流館」

出資金

10億48百万円

預金積金

5,890億円

地域のお客様
会員の皆様

〈平成22年9月末現在〉

顧客数：404,538先
会員数：28,969名

但陽信用金庫

〈平成22年9月末現在〉

常勤役員数：659名
店舗数：31店舗
出張所：81出張所
自己資本比率：17.90%

地域貢献
活動

支援
サービス

よろず相談

貸出金

2,403億円
代理貸付：340億円

NPO法人「但陽ボランティアセンター」の取組み

阪神淡路大震災直後の平成7年2月に活動を開始して15年が経過、その間、延べ16,000人を超える役職員をNPO法人に派遣し、ボランティア活動に携わってきました。

現在も毎日4名～6名の職員が、リフト付車両で車椅子を利用されている方の移動を支援する「移送サービス」、電話回線を使用した緊急通報システム「ベルボックス」を中心に活動を行っています。

また平成16年5月から、渉外担当職員が独居の高齢者のお宅を定期的に訪問する「ケア訪問」にも取り組み、毎月約2,200軒のお宅を訪問し、安否を確認する「一声運動」を続けています。



《たんよう》ふれあいゲートボール大会



加古川ツーデーマーチ



園児による祖父母似顔絵 ロビー展



全店が「子ども110番の店」



献血サポーター
www.ken-sapo.jp



日本赤十字社「献血サポーター」に
企業として登録



インターンシップ実習



夏休み親子金融教室を開催